

現代への扉

実験工房展

戦後芸術を切り拓く

Jikken Kōbō—Experimental Workshop



撮影：大辻清司 「実験工房」メンバー集合写真 1953-54年

戦後美術の新たな展開を切り拓いた「実験工房」の全貌を、約400点の作品・関連資料を通じて展観する、公立美術館では初の展覧会。

美術家と音楽家によって結成され、戦後美術の新たな展開を切り拓いたグループ「実験工房」(Experimental Workshop 1951-1957頃)の全貌を紹介する、公立館としては初めての展覧会です。「実験工房」には次のような多彩なメンバーが名を連ねました。[造形]大辻清司、北代省三、駒井哲郎、福島秀子、山口勝弘、[音楽]佐藤慶次郎、鈴木博義、園田高弘、武満徹、福島和夫、湯浅譲二、[詩・評論]秋山邦晴、[照明]今井直次、[技術]山崎英夫(五十音順)。次世代の美術、音楽をリードしたメンバーにとって、「実験工房」は創作の原点として重要な役割を果たしました。

グループの命名者である美術評論家・詩人の瀧口修造らの支持を受け、「実験工房」はダンス、演劇、映画といった多岐にわたるジャンルへ活動を展開しました。正式な解散はしていませんが、グループとしての活動がおおむね終了する1957年頃までの間、多くの先駆的な作品を残しています。

本展では、彼らの幅広い活動の軌跡を、絵画、立体、映像、写真のほか、楽譜や公演プログラムなど関連資料約400点の展示を通して、その活動の全振幅を検証し、近年にとみに高まりつつある再評価にさらに確かな足がかりを提供したいと思います。

1940年代後半から1960年代の造形作家の代表作に加え、自転車のPR用に制作された映画『銀輪』（監督：松本俊夫、音楽：武満徹、美術：北代省三、山口勝弘）や近年発見された未公開映像資料の上映を行います。また、メンバー合作の「オート・スライド」（1953年）のうち、フィルムが失われた映像の再現を試みます。

ジャンルを横断したグループの特質を多角的に捉えなおすため、絵画、写真、音楽など各分野の専門家による講演会やダンス・パフォーマンスのイベント等を開催する予定です。

神奈川県立近代美術館 鎌倉・鎌倉別館 2013年1月12日(土)-3月24日(日)

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53 tel. 0467-22-5000

休館日：月曜日（ただし1月14日、2月11日は開館）

開館時間：午前9時30分-午後5時

（入館は午後4時30分まで）

観覧料：一般 900円（団体800円）、20歳未満・学生 750円（団体650円）、65歳以上 450円、高校生 100円

※（ ）内は20名以上の団体料金です。

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。

※ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日（今回は2月3日、3月3日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金（65歳以上の方を除く）でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

特別協力：武蔵野美術大学 美術館・図書館

お問合せ先：神奈川県立近代美術館 鎌倉 tel. 0467-22-5000 fax. 0467-23-2464 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-1-53

広報担当：松尾、酒井 展覧会担当：西澤、朝木



(左)
駒井哲郎
《オートスライド『レスビューグ』原画》
1953年 グワッシュ
世田谷美術館蔵
©Yoshiko Komai 2012/JAA1200212

(右)
構成：山口勝弘／撮影：大辻清司
《A P N (『アサヒグラフ』
1953年11月11日号)のための構成》
1953年 ゼラチンシルバープリント
作家蔵

関連プログラム

■〈ミュージック・コンクレート／電子音楽オーディション〉 再現コンサート（レクチャー付）

日時：2013年3月10日（日）午後2時30分～4時
会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 展示室
講師：川崎弘二氏（電子音楽研究）
音響：有馬純寿氏
申込不要、無料（ただし展示会の観覧券が必要です）

■ゲストトーク「実験工房の写真と映像」（仮題）

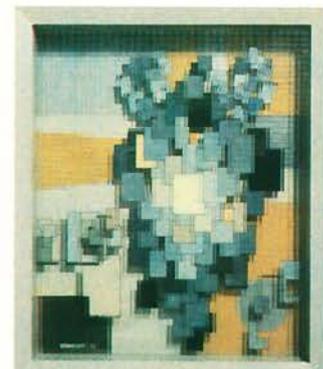
日時：2013年1月19日（土）午後2時～3時
場所：神奈川県立近代美術館 鎌倉 展示室
講師：^{おびなた}大日方欣一氏（フォトアーキビスト／武蔵野美術大学造形研究センター客員研究員）
申込不要、無料（ただし展示会の観覧券が必要です）

■担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2013年1月27日（日）、2月16日（土） 各回 午後2時～2時30分
場所：神奈川県立近代美術館 鎌倉 展示室
申込不要、無料（ただし展示会の観覧券が必要です）

このほか、ワークショップを予定しています。
詳しくは当館までお問い合わせください。

Jikken Kobo
[Experimental Workshop] was founded in 1951 by a group of young artists who gathered regardless of genre. There were artists such as YAMAGUCHI Katsuhiro, KITADAI Shozo, and FUKUSHIMA Hideko and musicians such as TAKEMITSU Toru and YUASA Joji. In recent years, Jikken Kobo is being re-evaluated in and outside of Japan as a group that brought forth a new era in postwar art. The entirety of the group is presented through approximately 400 works and reference materials including paintings, objects, videos, photographs, musical scores, and programs based on the latest studies. In order to re-examine their diverse activities such as films and performing arts, lectures and events will be given by experts of the respective fields.



山口勝弘《ヴィトリヌ No. 37》
1953年 油彩、板、ガラス
神奈川県立近代美術館蔵



撮影：大辻清司 『月に憑かれたピエロ』1955年 産経国際会議場（ポートフォリオ《eyewitness》より） 世田谷美術館蔵
（演出：武智鉄二、出演：観世寿夫、野村万作、浜田洋子、装置・仮面：北代省三、衣装：福島秀子）